



平成24年4月13日

復興支援に向けた多様な担い手のロードマップについて ～NPO等、企業等、自治会等、市町村、都道府県・国の取組～

復興庁ボランティア・公益的民間連携班及び男女共同参画班では、今後の復興にあたり、多様な担い手が連携して取り組むべき5つの分野における「ロードマップ」を作成しましたので、ご案内します。

ロードマップについては、復興庁ウェブサイト (<http://www.reconstruction.go.jp/>) に掲載します。

1. 「ロードマップ」について

被災者生活支援や復興まちづくりなど、これからの多様な復興ニーズに柔軟に対応するには、行政・民間それぞれの担い手が多様に連携しなければなりません。また多様な担い手が連携して復興にあたるには、「課題」や「目標」を担い手間で共有しておく必要があります。こうした考えから、向こう3年間において目安となる目標・取組を、5つの分野で提示したものが「ロードマップ」です。

2. ロードマップの活用について

ロードマップは、「被災者生活支援」「遠隔避難者支援」「復興まちづくり」「産業再生・就労支援」「多様性への配慮」の5つの分野について、過去の大規模災害などを参照しながら、各年ごとに目安となる状態目標をとりまとめています。また、状態目標を達成するために、おおむね3ヶ月ごとに「目標に向けた取り組み」を定め、担い手間で共有しながらその取り組みに着手していくことで、「連携復興」がより成果の高いものとなると考えられることから、担い手間で議論するための「ワークシート」も作成しましたのでご活用ください。

本件連絡先：

復興庁ボランティア・公益的民間連携班

男女共同参画班

担当：羽多野、新免 電話：03-5545-7480（直通）